

北大経済学部 同窓会報

Hokkaido University
Faculty of Economics

第29号



発行者

北海道大学経済学部同窓会

発行日 2013年8月31日

電話 & FAX (011)706-4113

email dosokai@econ.hokudai.ac.jp

経済学部卒業者数 9,406名

ごあいさつ

北大経済学部
同窓会会長
上野 昌 美
(昭和47年卒業)



同窓会員の皆様に、新誌面で同窓会報第29号をお届けします。

平成24年10月6日に北海道大学の第1回のホームカミングデーが開催されました。当日は午前中の記念式典、お昼の全学懇親会の後、経済学部・法学部合同での「なつかし講義」のイベントがあり、経済学部の小林好宏名誉教授の名講義がありました。経済学部、法学部に分かれてそれぞれの総会を開催したあとは、両学部合同の懇親会を催しました。

経済学部同窓会では、従来は10月下旬に開催していた総会と懇親会の日程を早めてホームカミングデーと同日開催としました。そして、全学レベルのイベント、経済学部主催のイベントへの参加呼びかけを、大学の広報課、経済学部と連携して行いました。ホームカミングデーと同日開催とした経済学部同窓会の総会と懇親会には、従来よりも幅広い地域から、初めて参加する同窓生が増加するという相乗効果がありました。

今年のホームカミングデーは9月28日に開催されます。今回は、経済学部、文学部、教育学部が合同で催しを行う予定です。同窓会の総会と懇親会も同日に開催いたしますので、ホームカミングデーと経済学部同窓会の総会と懇親会にあわせてご出席をいただきたくご案内申し上げます。

北海道大学には現在、大学改革の波が押し寄せています。昨年6月に文部科学省は「大学改革実行プラン」を公表しましたが、今年に入ってから改革の波は加速し、教育面では国際的に活躍できる人材の育成に焦点を当て、外国人教員の大量採用、外国のトップクラスのエデュケーションプログラムの導入、英語による授業の拡大などの導入に取り組むことが目標として掲げられました。このような流れの中で、北海道大学では本年5月に、国際的に活躍できる人材の育成のために、「新渡戸カレッジ」を開校し、経済学部からも学生が選抜されました。「新渡戸カレッジ」では、多文化交流科目、フィールド型演習、海外留学などの通常の教育プログラムに加えて、フェロー制度というユニークなシステムを取り入れました。カレッジ生の精神的な成長の導き手となるフェローは同窓生がその任にあたります。北海道大学の前身である札幌農学校で、クラーク博士が学生に与えた多大な精神的影響は現在まで脈々と受け継がれています。フェロー

制度は、この伝統を現代に生かす革新といえるのではないのでしょうか。重責あるフェローに就任された10名の同窓生のお一人である北村倫夫氏は、経済学部の同窓生です。

経済学部の学部長を務められた石垣博美名誉教授が本年7月6日に逝去されました。石垣名誉教授は、1980年代に国際セミナーを開催し、外国人留学生を受け入れるなど、経済学部の国際化のパイオニアでした。北海道大学が国際化の波に直面している現時点から振り返ってみると、経済学部の国際化の基石を置かれた石垣名誉教授の功績の大きさが偲べれます。ここに衷心から哀悼の意を表します。

北海道大学はこれから急速に世界、社会、地域へ開かれていくでしょう。同窓会も大学への窓口のひとつとして重要な役割が期待されています。経済学部同窓会もこのような流れに積極的にかかわっていきたいと思います。とはいえ、同窓会の本来的な目的は同窓生の親睦です。本号には、同窓生の近況がたくさん紹介されています。誌面の記事が、旧友との連絡の復活や久しぶりの会合のきっかけとなったり、あるいはホームカミングデーに参加する計画をたてる方が出たりという結果につながれば幸いです。

最後になりましたが、本号にご寄稿くださいました皆様並びに会報作成にご協力くださいました皆様に心から感謝いたします。



大学院経済学研究科長・
経済学部 吉見 宏

同窓生の皆様には、日頃から経済学部・経済学研究科にご厚情賜り、大変感謝しております。

昨年度から学部長・研究科長を拝命し、1年を経ました。ご存じのように、昨年度は、同窓会の総会にも大きな変化がありました。昨年度からホームカミングデーが全学行事として開催されることとなり、経済学部でも同窓会と協力しながら、ホームカミングデーにあわせて学内で同窓会総会および懇親会を開催しました。このような行事は、同窓会の皆様との協力なくしてはできなかったと思いますし、またこれを機会にこれまで以上に同窓会と学部・研究科教員との連携が深まったように思います。

意外なことに、これまでは学部の教員に同窓会担当の窓口となる者がおりませんでした。昨年度よりこれを置くことにしました。今年度は、平本教授（昭和62年卒）と篠田准教授に担当をお願いしております。今後は、ホームカミングデーのみならず、様々な形で同窓会にご協力をお願いし、また学部からも皆様に発信していきたいと考えております。

さて、そのような同窓会との連携は、北大経済学部の「約束」でもあります。といいますのは、このことは経済学部の第2期中期計画の項目に入っているからです。

ご存じのように、北大は国立大学法人化し、教職員は以前のような国家公務員ではありません。法人化にあたり、大学は1年ごとではなく6年間の「中期」に目標を定めて、そこで達成することを国民に約束することになっています。この中期目標期間は、現在はその2期目（平成22～27年度）であり、さらに本年からはその後半に入ります。

北大全体の第2期中期目標・計画には、冒頭のホームカミングデーの実施も含まれていました。さらには、大学の国際化を進める観点からは、本年度から「新渡戸カレッジ」のプログラムも始まっています。これは、大学全体で各学年の学部学生の10パーセント程度を採用する、大学内大学とでもいえるプログラムです。ここに選抜された学生は、自分

が所属する学部の履修科目の外に、新渡戸カレッジの特別科目を修め、カレッジ生全員に海外留学も求められます。新渡戸稲造がそうであったように、国際的に活躍できる人材の育成が目指されるのです。新渡戸カレッジ生は、成績に応じて称号が与えられるほか、大学が留学等のための経済的な支援も行います。

本年度、新渡戸カレッジの「開校式」が行われ、経済学部1年生も9名が選抜されました。このあと総合文系で合格した1年生と来年度に追加される2年生が経済学部生として加わりますので、最終的には来年度経済学部2年生に進学する学生のほぼ約1割が、新渡戸カレッジ生となることが予想されます。

新渡戸カレッジのプログラムも、同窓会の支援が前提となっています。新渡戸カレッジの校長は総長ですが、副校長には北大連合同窓会の数士文夫会長が就かれています。また、カレッジ生約20名に1人の割合で配置されるフェローには、各界で活躍する同窓生があたり、経済学部同窓生からは北村倫夫さん（昭和56年卒）が就任されました。

こうした人的支援のみならず、先の学生への経済的支援には、同窓生の寄付が中心の北大フロンティア基金の資金が充てられています。

このように、現在の大学の活動は、いよいよ同窓会、同窓生の皆様のご支援がなければ成り立たないようになってきています。それは経済学部・経済学研究科だけを取り上げても同様です。北大フロンティア基金へのご寄付の際に、経済学部への寄付を指定していただければ、本学部において皆様のご厚意を有効に使用させていただくことができます。また、たとえば現役経済学部学生への就職アドバイスなど、直接的な人的支援をお願いすることも出てこようかと思います。このようななか、同窓生の皆様には、今後一層の経済学部・経済学研究科へのご関心をいただきますようお願いいたします。



名譽教授便り

北大への期待



濱田 康行

札幌国際大学長
札幌国際大学
短期大学部学長
北海道大学名誉教授

札幌国際大学といっても知らない方も多いのですが、前身は札幌静修短期大学です。40年以上の歴史（1969年）のある女子高等教育の名門で、多くの卒業生を輩出しています。男子学生が入学し、静修という名称に“女子大”イメージが残ることから（他の理由もあった？）名称を変更したようです。

当時（1997年）は日本全国で国際化がスローガンだったことも影響しているでしょう。単に、国際人、グローバル人間を育てるというのではなく、地域に貢献で

きる国際感覚のある人材の育成が特徴です。

大学には人文、観光、スポーツ人間の三つの学部が、短大には総合生活キャリアと幼児教育保育の二つの学科があり、総勢2000人程のいわば中規模大学です。大学は中規模ですが、敷地は約4万坪、清田区第一の地主です。周囲の緑も自慢（隣地は農業試験場、その向こうは札幌ドーム）ですし、高台にありますので建物の最上階からの眺めは格別です。さらに7月10日には新校舎の落成式を挙行し、地上11階、50mの清田区最高峰となります。

日本の私立大学は40%が定員割れ。本学も学部・学科によっては定員割れをしております。高校生とその周辺の方々に本学の魅力をいかに理解していただくに腐心する毎日です。大学の先生はセールスマンではありませんので、高校生を集めてといっても限界があります。正攻法は、①高校生に評判が伝わるような講義が展開されている、②キャンパスライフが楽しいものであること、③就職先が用意されていること、でしょう。言葉を変えていえば、高校生からみれば入学してみたい大学であり、企業からみればその卒業生を採用したくなる大学です。

①の良い講義のためには、やはり研究に裏付けられたコンテンツが必要ですし、多様化した高校生に伝えるための教授法の改良・改善が求められています。FD（Faculty Development）と称する教員研修を熱心になっているのはこのためです。②に関しては学生のニーズを調べて対応しますが、時代により、また学部ごと

に違いがあります。北大のように施設が充実していて、大学生協もあるところが羨ましいわけです。③については、それこそ全学をあげて取り組む。とにかく、出口のない入口に入るのは道理に反していますから。

北大を離れて3年が過ぎました。中にいるときはあまり意識しませんでした。遠くから北大をみると、実に立派な大学だと思います。29年間も、そこで教員生活を送ったことを幸せに思います。

北大に二つのお願いをしたい。ひとつは、世界の北大でいて欲しい。安倍政権が打ち出した第三の矢・成長戦略には、“世界の大学100位以内に日本の大学を10入れる”という目標があります。北大がこの中に入るのは当然です。現役の先生方にがんばって欲しいと思います。

もうひとつ。それは、北海道にある様々な大学のセンターであって欲しい。私立大学は特にそうですが、単独ではやり切れない多くの課題をかかえています。例えば大学院。優秀な学生が進学したいといっても、すべての分野で大学院を用意することは財政的な制約と教員の数からいってできません。北大が私立大学向けに大学院枠をつくってくれたら、いいのですが。次に留学生の扱い。どこの大学も国際化を生き抜くのですから、留学生を受け入れるのですが、最初の日本語教育などの導入部分を北大が担当してくれると有難い。教員の研修先としても北大に期待しています。サバティカル、短期国内留学の受け入れ先として北大が貢献してくれる。すべて私達の勝手な願望のようですが、北海道に学ぶ学生、世界から北海道に来てくれた留学生、そして北海道の大学に働く教員のレベルアップこそ、長期的にみれば北海道の繁栄の基盤でしょう。

北海道大学、そして経済学部が一層の輝きを放つことを期待しております。最後になりましたが、上野会長をはじめとする同窓会の役員の方々の日頃の貢献に心より御礼を申し上げます。



ゼミOBとのお花見会にて（本年5月）

北大生協は 北大での勉学・教育・研究活動の充実に貢献し 大学生活を豊かにする活動を進めています

オリジナルグッズ

好評発売中!!

記念品・おみやげに
どうぞご利用ください

北大生協オリジナルグッズ
Online shop

<http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/ordergoods/index.html>

北海道大学生生活協同組合 理事長 木村 純
札幌市北区北8条西7丁目 TEL 011-746-6218

大学生協北海道事業連合 理事長 酒井 徹
札幌市北区北8条西6丁目新和ビル TEL 011-726-9148

平成24年度 経済学部同窓会、懇親会

— 学内での懐かしい一日でした —

平成24年10月6日（土）の第一回北大ホームカミングデーの当日、午後3時すぎから経済学部同窓会総会・懇親会が開催されました。今回も記念講演会と懇親会は法学部との合同で行い、参加者は約120名と大いに盛り上がりしました。

総会に先立って行われた講演会は「なつかし講義」と銘打って、これまた懐かしの「軍艦講堂」で行われました。経済学部からは小林好宏名誉教授（現・はまなす財団理事長）が、また法学部からは厚谷襄児名誉教授がそれぞれ短時間ながら、往時そのままの熱のこもったご講演をいただきました。小林先生は近代経済学の大い流れをわかりやすく講義され、最後に日本経済の現況や問題点に触れられるなど「持ち時間」をオーバーする迫力で会場を沸かせました。



総会では前期決算および次期活動計画が承認されたあと、吉見宏経済学部長より総会出席者に向けて自己紹介とご挨拶をいただきました。そして夕暮れ迫る中、場所を学内の中央食堂に移してHBCアナウンサー船越ゆかりさん（経済学部55年卒）の司会により賑やかに懇親会が始まりました。上野同窓会長や小林名誉教授のスピーチのあとは年代、学部を超えて旧交を温める和気藹藹の雰囲気になりました。

北大生協自慢の味を堪能したあと、最後は恒例の「都ぞ弥生」の大合唱。こうして両学部の合同同窓会は、翌年の再会を約して無事閉会しました。



卒業生を送る会



平成25年3月25日、午前中に行われた卒業式に引き続き「百年記念館」で経済学部・研究科の卒業生を送る会・同窓会入会式が開催されました。この席上では優秀な卒業論文に対し、経済学部長賞とは別に「同窓会長賞」が毎年授与されます。今回は経営学科久保ゼミの加藤龍津彦さんが見事受賞されました。論文名は「公会計改革～現金主義会計による複記システムとPDCAサイクルの導入～」です。この会誌に論文の要約と喜びの感想が寄せられています。

送る会では、上野会長より社会や大学院等に巣立つ200余名の卒業生に対し力強い餞の言葉が贈られました。またこの会には例年、同窓会より金一封（15万円）を寄贈し、多くの学部関係者より感謝の言葉をいただいております。

受賞の喜びと感謝の想い



加藤 龍津彦さん

この度は、平成25年度北海道大学経済学部特選論文同窓会長賞を頂きまして、誠にありがとうございます。このような名誉ある賞を頂けたことを本当に誇りに感じております。論文の執筆に当たり担当教官である久保淳司先生には、論文の体裁から内容にいたるまで多くのご指導を賜りました。また、ともに励ましあった仲間や、支えてくれた両親など、多くの皆様にお世話になりました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

私の卒業論文は「公会計改革～現金主義会計による複記システムとPDCAサイクルの導入～」という表題です。この論文の執筆の背景には、現在の日本の財政状況の直面する深刻な現実があります。少子高齢化や景気の低迷の中で、今まで通りの予算の使い方を続けていくことはできないという問題意識がこの論文のスタート地点です。

国家財政の厳しい状況は日本だけでなく、世界中に広がる問題です。その中で、国の予算の使い方を管理する公会計制度の改革は世界各地で行われています。その多くが、発生主義会計及び複式簿記制度を導入するという「公会計の企業会計化」によるものでした。この方法が公会計改革のスタンダードとして、日本でも地方自治体から導入されており、政府全体の会計にも導入する動きがあります。

私は、この公会計改革のスタンダードとされる「公会計の企業会計化」に疑問を持ちました。第一に、発生主義会計と複式簿記制度の導入が一緒に考えられていることです。費用や収益の認識の基準である発生主義会計と記帳方法である複式簿記とはワンセットではありません。第二に、発生主義会計の目的は損益計算を行うことであり政府部門には不必要であるということです。公会計制度の目的は権限を持って徴収された租税等の収入をどのように活用しているかを表示することです。そして最後に、複式簿記制度から得られるストック情報は他の情報で補完可能のため不必要であるということです。ストック情報の開示の目的である資産や負債の総額の表示は財産目録や負債の一覧で補完可能です。

しかし、現在の公会計制度のままでいいかというとうそうではないと

思います。現行制度の問題点は予算と決算の関連付けがないということです。決算は次の予算に活かされるべき情報であるにも関わらず、現行制度では決算が次の予算に活かされていません。

このためには決算発表の迅速化が必要となります。私はその手法として予算と決算を複記化して、管理会計の手法を用いた暫定的な決算を作成することを提案しています。これにより決算の計上が早くなるとともに、予算との差異が自動で振り替えられることとなります。この迅速に発表された決算を予算の計画、執行、検証、反映のプロセスであるPDCAサイクルに乗せることで、決算を次の予算に反映させるシステムを作ることができます。この結果、各府省庁が出した決算結果が、国会の審議・議決を経た予算を通じて、各府省庁を拘束することとなり、予算の効率的な活用につながるというのが私の卒業論文の内容です。

この卒業論文を執筆しもっとも大切だと感じたのは、一つの物事を多面的に捉えるということです。現状の公会計制度や公会計改革の議論の内容をうのみにするのではなく、そこに疑問を持ち、よりよい方法を模索する姿勢が必要なものでした。この姿勢はこれから社会人として仕事をしていく上で必要なことであり、このような経験を北大経済学部でできたことを本当にうれしく思います。

現在、私は国家公務員として研修を行っています。日々学ぶことが多く、四苦八苦していますが、明るく元気に社会への一歩を踏み出したところです。北大経済学部で学んだことを胸に、日々努力を重ねていこうと思っています。

最後になりますが、我々の道筋をつけてくださったすべての北大経済学部の同窓生の皆様に、卒業生を代表いたしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

経済学部東京同窓会は毎年秋頃に開催しており、昨年は11月19日に銀座東武ホテルにて開催されました。

2年毎に経済学部単独での開催と法学部と合同開催を交互に行っており、昨年は法学部との合同開催で、経済学部から41名、法学部と合わせて約80名のOBにご出席頂きました。



毎回、懇親会に先立って第一線で活躍されているOBや北大からお越し頂いた学部長に講演会をお願いしており、今回は経済学部長の吉見宏先生に「景気低迷

経済学部 東京同窓会のご報告

からの脱出についてのいくつかのシナリオ～近未来の日本と北海道の姿を求めて～」と題して約1時間講演頂きました。

吉見先生には急なお願いにもかかわらず、大変興味

深いテーマで講演を頂きありがとうございました。

講演後の懇親会は東京同窓会陣谷会長の開会の挨拶、乾杯は今回出席者の最年長玉井先輩（昭和28年卒）のご発声により約1時間、OBそれぞれの近況報告や新たな交流もあちらこちらで見られて、お開きの時間をお伝えするのがはばかれるほどの盛況でした。

懇親会のお開きは北大OBが集まった時には欠かせない恒例の「都ぞ弥生」で締めとなりました。

同窓会では世代や業種の垣根を越えた交流ができて、出席すると楽しくもあり、刺激も受けることが出来ますので、今後も多くのOBに出席頂きたいと思います。

関東にお知り合いのOBがいっぱいいらっしゃいましたら、事務局藤井（e-mail: iijuft@frontier.hokudai.ac.jp）にお知らせ頂ければ幸いです。

最後に、今回の同窓会では遠く札幌から吉見先生、上野同窓会長、岩本同窓会副会長にご出席頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。

東京同窓会事務局 藤井孝先（平成7年卒）



札幌のお部屋探しならノースステイ

North Stay

North Stay は、札幌でウィークリー・マンスリーマンションや家具家電付の賃貸マンションを運営しております。ご旅行や出張など、お客様のあらゆるシーンにあわせて、快適な住居空間をご提供させていただきます。

〈ノースステイホームページ〉
www.north-stay.com/

札幌市内トップクラスの情報量

札幌オフィス検索

札幌オフィス検索は、札幌の賃貸事務所・オフィスなどへ移転をお考えのお客様に最新の物件情報をご紹介します。ご紹介物件数・更新頻度ともに札幌エリアではトップクラスです。仲介手数料半額による格安なコストでの移転をサポートします。

〈札幌オフィス検索ホームページ〉
<http://of-sapporo.jp/>

ファイバーゲートグループ
株式会社 賃貸生活

代表取締役 猪又 将哲

こちらのフリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください

【ノースステイ受付窓口】

フリーダイヤル
0120-277-271

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目10-3 第28桂和ビル2階
TEL 011-330-0077 / FAX 011-222-7093

【札幌オフィス検索窓口】

フリーダイヤル
0120-989-865



□ファイバーゲートのホームページ
<http://www.fibergate.co.jp>

順調な就職状況

昨年同様、本学部・研究科の卒業生に「就職難」という言葉は無縁のようだ。
新しく社会に向けて巣立った我々の後輩の活躍を心から期待したい。

就職先一覧（学部・研究科）

【12名】札幌市役所
【8名】北洋銀行
【6名】ニトリ
【4名】北陸銀行
【3名】道銀、三井住友銀行、富士通、北電
【2名】JA、IHI、トヨタ、NTTコミュニケーションズ、セイコーマート、日本政策金融公庫商工中金、三井住友海上火災、札幌国税局
【1名】JA北海道中央会、麒麟ビール、フィリップモリス、ヤマサ醤油、サントリーホールディングス、JT、サントリーフーズ、旭化成、神戸製作所、旭硝子、JX日鉱日石エネルギー、日揮、出光興産、テツゲン、東芝、日立、アイシン精機、ダイナックス、豊田自動織機、日野自動車、フジテック、ブリジストン、トヨタ北海道、札幌トヨタ、NAKAGAWA、三菱商事、トーアエイヨー、電源開発、読売新聞、ジュピターテレコム、NTTデータ、NTT東日本、HLC、プロトコーポレーション、SOC、エスピーック、NTTドコモ、ソフトバンク、リクルート北海道じゃらん、北海道中央バス、JR北海道、JR東日本、全日空、日本郵便、国分、三谷商事、モロオ、サンゲツ、大丸藤井、イオンモール、イオンクレジット、日立システムズ、Softbay、西松屋、中野グループ、大和証券、札幌信金、岩手銀行、ゆうちょ銀行、七十七銀行、JCB、りそなグループ、日本政策投資



銀行、北海道労金、信金中央金庫、野村証券、三菱東京UFJ、シティバンク、農林中金、住友生命、ザイマックス、日本貿易振興機構、札幌市青少年女性活動協会、きちり、スリーファイブ、船井総研、メディアファクトリー、芙蓉総合リース、監査法人トーマツ、あづさ監査法人、インテリジェンス、進学舎、おみやげの店しらかば、北海道大学、防衛省、陸上自衛隊、道財務局、裁判所、道警、釧路市役所、名古屋市役所、佐賀県、山梨県、福島県、岩手県

以上

先生の異動状況

皆さんが習われた先生の異動状況です。ご不明な点は同窓会までお尋ね下さい。

平成25年2月28日 助手 朝倉美恵子 辞職
3月31日 教授 宮本 謙介 退職（定年）
経済学研究科・特任教授へ
同 教授 吉野 悦雄 退職（定年）
経済学研究科・特任教授へ
同 准教授 内藤 隆夫 辞職
東京経済大学経済学部教授へ
同 助教 大塚 芳宏 辞職
長崎県立大学経済学部講師へ

第33回経・法学部同窓会対抗ゴルフ大会 来年はこそってご参加を！

恒例の法学部との対抗ゴルフ大会が6月30日、札幌エルムCCで行われ、経済学部が2連覇を果たしました。参加者こそ少なかったものの絶好のゴルフ日和に恵まれてか、「ナイショッ」や拍手の音が「ドンマイ」や「フォー」の声より多く聞かれたようです。優勝は酒井和人さんが2年連続優勝でしたが、参加者全員に賞品が当たりました。和気藹藹のパーティーのあと、来年の再会を誓って散会しました。

来年は6月の最終土曜日に開催します。初心者や初参加者も大歓迎です。今年も2名の初参加者がおられました。「参加しようかな」と思われる方は事務局までご連絡下さい。近づきましたらご案内の通知をさせていただきます。

創業から90年間、
私たちは想いを届けるお手伝いをしてきました。
印刷物からWebやデジタルサイネージまで、
常に時代に合った方法で、
企画・制作からトータルに請け負い、
あなたの想いを届けます。

想いを、形に。
想いを、届ける。

TOTAL PRINTING

株式会社 須田製版

札幌本社 / 〒063-8603 札幌市西区二十四軒2条6丁目
TEL.011-621-1000 FAX.011-621-1500



北海道と歩んで90年



●旭川支社 ●釧路支店 ●苫小牧支店 ●関東支店 ●滝川営業所 ●帯広営業所 ●北見営業所

@Frontier

北大卒業生向けインターネットサービス

北大では、卒業生の皆様にご利用いただけるWebサービス「アットフロンティア」をスタートしました。フリーメールの手軽さで北大ドメインのメールが使えて、他の卒業生との連絡機能も搭載。校歌や寮歌の演奏データがダウンロード可能なほか、北大発のイベントやビジネス情報も入手できます。生涯使えるメールアドレスで、他の卒業生や北大と、生涯つづくコミュニケーションを。

生涯使えるメールアドレスで、生涯つづくコミュニケーションを。



利用資格は“北大卒業生”、利用料は無料です。

北大ドメインのメールアドレスを無料でご提供します。

無料で取得できる hokudai.ac.jp ドメインのメールアドレスは、メールソフトからも Web メールとしても利用できますので、フリーメールのように便利なのに、北大ドメインなので高バリューです。利用期限がありませんので、普段使いのメールアドレスとしてご活用ください。もちろん、いつも使う職場や携帯電話のメールアドレスに転送することもできます。

北大の四季やイベント、研究成果やビジネス情報も。

北大で行われるイベント情報や、キャンパスに訪れる四季の様子など各種お知らせを毎月お届けします。北大発のビジネス情報、話題の講演会、画期的な研究成果からサークルの活躍まで、多彩な内容でお送りします。

なつかしの寮歌や校歌を携帯電話・PCでダウンロード。

あの日歌った校歌や寮歌も、時間が経つとどう覚えに…そんなときは、@Frontier で歌詞やメロディをしっかりとチェックしましょう。“北大人”の集まりには欠かせません。もちろん、携帯電話の着信メロディにも使用できます。

登録ユーザ同士で検索して、連絡先を管理。

独自のアドレス帳機能で、他の卒業生との連絡手段として活用できます。連絡先が分からなくなった相手でも、氏名や学部学科など特定の情報が分かればメッセージをお届けします。

※送信相手は@Frontier メールアドレスを取得した卒業生に限ります。

@Frontier 新規登録申請方法

① Webサイトにアクセス

二次元バーコードを携帯電話で読み取るか、携帯電話・PC ブラウザで次の URL を入力してアクセスし「新規登録申請」をクリックしてください。
<http://www.frontier.hokudai.ac.jp/>



② 氏名や卒業学部を入力

登録申請フォームが表示されるので、必要事項を入力して申請手続きを行ってください。



③ アカウント送付

北大事務局により、卒業事実確認を行います（この作業にはお時間をいただく場合があります）。確認完了後、アカウント情報（ID およびパスワード）を E メールまたは郵便で送付します（通知方法は申請時の連絡先に E メール・ご住所のどちらを指定したかによって異なります）。

@Frontier に関するお問い合わせは、北海道大学総務企画部広報課（info@frontier.hokudai.ac.jp/011-706-2153）までお気軽にお寄せください。



学生支援の「北海道大学カード」

北大人の証明

北海道大学連合同窓会が発行する「北大カード」は、北大人としての証です。
（北大同窓生、在学生父母及び教職員限定）

特典

附属図書館の入館証
植物園の無料入園証
北大カード協力店の割引・優待
北大出版会書籍割引
希望者へ結婚式への祝電サービス
（総長・連合同窓会長連名による）
カード会社からの各種サービス など
（詳細は申込書等をご覧ください。）

一般カードは年会費永久無料！！
《ゴールドカードを除く》

一般カード



カードの利用額に応じて提携手数料がカード会社から還元されます。これを「学生支援資金」として奨学金などの学生支援に活用します。

ゴールドカード
年会費10,500円（税込）

お申込について

1. 専用の申込書を下記あてご請求ください。専用申込書を送付いたします。
2. 専用申込書に所定事項を記入・捺印いただき、ご投函ください。
3. カード会社の審査を経て、お申込から約1ヶ月後にカード会社から配達記録郵便にてご自宅あてお送りいたします。

申込書ご請求先

北海道大学連合同窓会事務局（北海道大学総務企画部広報課）
〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
電話：011-706-2153
E-mail: kouhou2@jimu.hokudai.ac.jp

※UCカードのホームページからも、申込書を請求できます。
（ホームページ下部の「資料請求」からお進み下さい。）
（<http://www2.uccard.co.jp/join/college/hokudai.html>）

北大の近況

第一回ホームカミングデー、 成功裡に終わる — 今年も是非お出かけください —

「大志」を胸に巣立った多くの同窓生が母校に一堂に会し、学部や地域、年代の枠を超えて親睦と連携を深め、そのことが北大の強力なサポーターとなることを願って今年からホームカミングデーが開催されました。「Be ambitious again!」をモットーに昨年10月6日第一回が行われ、全国から多くのOB、OGが駆けつけました。

午前中の全学行事はクラーク会館講堂を会場に式典と記念講演が行われました。式典では佐伯浩総長（当時）、数士文夫連合同窓会長の挨拶が、講演では鈴木章名誉教授のノーベル賞受賞のトークがあり、会場を埋めた同窓生やその家族が熱心に耳を傾けました。



対談する鈴木章名誉教授（右）と司会の経済学部OGの船越さん



会場が一体となり「都ぞ弥生」斉唱

午後からの学部や同窓会主催の行事は多岐にわたり、市民公開講座、懐かし講義や模擬講義、ギター演奏会、同窓生への近況報告会、キャンパスツアー、研究室・施設の見学会、現役学生との交流会などが開催されました。さらに食堂では懐かしいランチが提供されました。

当日は道内外より延べ800名を超える同窓生が札幌キャンパスに集いました。参加された多くの方からは期待以上であったとの声がありました。第一回ということもあって大学も手探り状態の中での開催でしたが、第2回はさらに同窓生に喜んでもらえるイベントになる予定です。

9月28日は是非お出かけください。

佐伯 浩 第17代総長の 離任式を挙行

3月29日、佐伯 浩第17代総長の離任式が、大勢の教職員が出席する中、事務局大会議室で挙行されました。

離任式では、役員及び教職員を代表して、三上 隆理事・副学長が感謝の言葉を述べた後、佐伯第17代総長から5年11ヶ月の在職期間を振り返っての挨拶がありました。

その後、山口佳三第18代総長から花束が贈呈され、新旧総長の握手によるバトンタッチが行われました。

最終退庁の玄関では、教職員だけでなく大勢の学生も集まり、最後の見送りが行われました。



5年11ヶ月の重責の日々を振り返って



大勢の学生、教職員に見送られて



佐伯先生、ありがとうございました

山口佳三 第18代総長が就任

4月3日、山口佳三第18代総長の就任式が、大勢の教職員が出席する中で行われました。

挨拶の中で、大学の原点としての「多様性」、改革の方向としての「個性を持った総合力」、大学という組織が維持すべき「寛容」を3つの理念として掲げ、この理念を「キャリア・デザイン力の強化」、「国際社会をリードする先端科学技術研究の推進」、「安心して働ける職場環境の構築」、「オール北海道体制の構築」、「大学経営力の強化」という5つのミッションによって具体化することが今後4年間北海道大学の総長として取り組むべき基本課題と考え全力で取り組んでいきたい、と述べられました。



挨拶する山口総長

新渡戸カレッジ「開校式」を挙行

学生の国際性を涵養し、国際社会の発展に寄与する人材の育成を目指す目的で4月に開設した「新渡戸カレッジ」の開校式が、5月15日に執り行われました。

開校式には、山口佳三総長（校長）、数土文夫北海道大学連合同窓会会長（副校長）、新田孝彦理事・副学長（副校長）をはじめ、理事・学部長等が出席するとともに、新渡戸カレッジフェロー（同窓生）及び第1期生となるカレッジ生が参加しました。



開校式における校長（総長）挨拶

式典では、山口校長から「新渡戸カレッジは、札幌農学校を卒業し、世界で活躍した新渡戸稲造にちなんで名付けられたもので、その精神を受け継ぎ将来、国際社会で活躍するグローバルリーダー



学生代表の挨拶

を目指して欲しい」と挨拶があり、数土副校長からの激励の挨拶に続き、カレッジ生を代表して山田恵美子さんから「英語力だけでなく、国際社会で強く生き抜く力を身につけたい」と将来の抱負が述べられました。

国際コミュニケーション力の育成等に関する教育プログラムである「新渡戸カレッジ」は、平成24年度文部科学省グローバル人材育成推進事業に採択された事業であり、4月に全学部の新入生（学部1年生）から397人の入学希望者があり、語学試験で選抜された129人が入校しました。

今後、カレッジ生は、留学支援英語、多文化交流科目、フィールド型演習、海外留学など、卒業までに15単位以上の授業科目の修得を目指すこととなります。

学生支援の取組について

北海道大学における主な学生支援の取組をご紹介します。

学生相談

「学生相談室」は毎年延べ1,000名ほどの来訪者があり、学業問題から対人関係・性格など幅広い相談に応じています。健康問題については、保健センターでも多くの相談を受けています。平成22年からは、学生による学生のための何でも相談室「ピア・サポート室」を開設し、これまで13,000名ほどの学生が利用しています。さらに平成25年度からは、障害学生への支援を充実させるために「特別修学支援室」を設置し、カスタムメイドの支援を行うことにしています。他にも、高等教育推進機構では、ベテラン教員がきめ細やかな学修指導を行っており、附属図書館とピア・サポート室が協力した学部選択支援事業「少年よ、学部を選べ」も好評です。

課外活動支援

学生の課外活動に対しては、サークルに総額600万円以上（平成24年度）を補助していますが、体育館やサークル会館などの維持経費、福利厚生施設や学生寮の運営経費は1億2,000万円ほどにのびります。また、平成13年度から、学生の自主性・創造性を尊重し、学修・研究意欲を促すための取組として「北大元気プロジェクト」事業が始まり、例年25件前後（平成24年度は730万円）を採択し、学生の元気を応援しています。函館キャンパスも、別途2,000万円余りを支援しています。

こうした学生支援のための原資は、一般運営財源の他、皆様から寄せられた北大フロンティア基金やクラーク記念財団からの寄附などが充てられています。

同窓生の著書紹介

『スペイン王権史』 ～王室とは何であるのか?～

中西 省三(筆名:桑原 真夫)
(経済学部経済学科 昭和44年卒)

大学生時代に処女詩集を出して以来多くの本を出版してきたが、今回17冊目の本として中央公論新社より『スペイン王権史』(共著)を上梓した。銀行員(三井銀行:現三井住友銀行)としてマドリッド支店に勤務したことで、スペインは私の第二の故郷になってしまった。

私はこれまで主にガリシア地方の女流詩人ロサリア・デ・カストロを紹介してきたが(2007年5月31日付け日本経済新聞「文化」欄には小文が掲載されている)、常々スペインの歴史について本格的な本が日本には出版されていないことに蟠りをもっていた。そこで、北大文学部卒の川成法政大学教授等とともに「スペインの王権」の歴史を纏めることになった。「王権史」としたのは、その中に(王になることができたにも拘らず、ブルボン王朝復活の道筋を作って軍人のままで死んだ)フランコも含まれるからである。

私のスペインものの最初の著書は『斜めから見たスペイン』(山手書房新社:本名で出版)であったが、そのころは(1990年代の初め)まだ海外の紀行本が珍しかったこともあり、1万部近く売れた。その後、この本はスペインに赴任する商社マンには必読の書とされたと聞く。今では、このような紀行ものは本屋に溢れかえっており、むしろ情報過多の感がする。スペインを紹介



教養部時代の同窓会(左端が筆者)

する本としてはこの書の他に『それぞれのスペイン』(共著)、『スペインの素顔』、『スペインとは?』、『スペインのガリシアを知るための50章』(共著)などがある。上記のロサリア関連では『ロサリア・デ・カストロという詩人』の他、翻訳書として『我が母へ』、『ガリシアの歌・上巻』、『ガリシアの歌・下巻』等がある。

さて、『スペイン王権史』であるが、私が担当したのは現在の国王フアン・カルロス1世からの現代である。現代王室の章を何章かに纏めるにあたり、改めて読んだ原書がスペイン語の本8冊、フランス語の本4冊、ポルトガル語の本1冊、その他目を通した資料は夥しい数に上る。これらの本の中で既に日本語訳が出ているものは1冊のみであった。従って、本邦初のエピソードをふんだんに盛り込むことができた。

私は予ねてより本書を皇太子殿下に読んでいただきたいと希望していた。それは、皇太子殿下が雅子さまと知り合った縁がスペイン王室と深くかかわっているからである。1986年の「エル・グレコ展」で来日されたエレナ王女の歓迎会のお茶会で、初めて皇太子殿下と雅子さまは知り合ったのである。一方、私は近々マドリッドでお会いすることになっている駐スペインの日本大使にこの書を送付贈呈した。そして大使とのやりとりの中で本書を皇太子殿下に謹呈したい旨伝えたと、すぐに東宮侍従を紹介して下さった。

私は皇太子殿下、雅子さま、担当侍従に合計3冊の本を送付した(勿論、礼儀正しい格式のあるレターを添えて)。それから1ヶ月ほど経ったある日、1本の電話が携帯にかかってきた。「こちら、東宮御所の侍従ですが、皇太子殿下に代わりお言葉をお伝えします」もう忘れかけていた、東宮への贈呈のことをとっさに思い出した。侍従は「本来は皇太子ご自身がお電話するところですが、私が代わりまして皇太子のお言葉を伝えます。殿下も雅子さまも確かに贈呈本を嬉しく受け取りました。ありがとうございます、とのこと」と、誠に丁寧な電話であった。

今年私は現在の会社(赤福)の役員で忙しいなか、スペイン関係の連載や書き下ろしで締め切りに追われている。また、年に1~2回は講演も引き受けている(今年3月には東大・駒場でロサリアについて講演)。嘗てはスペインに永住することが夢ではあったが、日本とスペインの両方に二股かけて双方に貢献するのも悪くはないと思い始めている。しかも、これまで私が訳した本の数の何倍もの本が、私の翻訳を待っているのである。



同窓会サポート企業

SALAT 株式会社 サラト

■本 社
兵庫県姫路市北条宮の町172
〒670-0948
Tel.079-284-1380

■東京支社
東京都千代田区外神田5-2-3 JR外神田ビル6F
〒101-0021
Tel.03-3832-6381



<http://www.salat.co.jp>

平成25年度 北大経済学部同窓会・懇親会のご案内

今年も構内の 軍艦講堂とクラ館です

日時：平成25年9月28日（土）

15：00～16：30 講演会（軍艦講堂：文系校舎の真ん中に位置）

16：40～17：00 経済学部同窓会総会（軍艦講堂）

17：30～19：30 懇親会（クラーク会館：大学構内南端）

会費：3,000円（同伴のご家族は1,500円）

なお、恐縮ですが**ご出席の有無を9月15日までに**下記あてご連絡いただきますようお願い申し上げます。当日受付も行います。

連絡先：北大経済学部同窓会事務局 岩本（月、木 午後）、佐藤（金 午後）

☎・FAX 011-706-4113 メール dosokai@hokudai.ac.jp

今年もホームカミングデーに合わせ開催します。総会に先立って行われる講演会は読売新聞論説委員・竹内政明氏をお招きし「コラムニストの泣き笑い」と題して講演をいただきます。

竹内氏は1979年北大文学部を卒業し読売新聞東京本社に入社、経済部にて大蔵省、通産省、日銀などを担当、88年から論説委員、01年から読売新聞の看板コラム「編集手帳」を連載中で、全国にファンが多い。著書多数。

同窓会費のお願い

「コンビニ振込み」が利用できます

いつもお振込をいただき、ありがとうございます

同窓会の諸活動や会員への連絡などは、言うまでもなくすべて皆様からの会費でまかなっております。

昨年度も42名の「終身会費」をはじめとして多くの方々に年会費をご入金いただきました。

同窓会事務局ではこれらの貴重な会費を一円も無駄にしない覚悟で、予算範囲内の活動を続けております。

法人化以降、大学は同窓会に対して様々な面で多くの期待を寄せてきています。今後は同窓会としてもこれを正面から受け止めて責任ある対応をしていかねばなりません。

また、同窓会相互の親睦や交流の場も増やしていきたいと思っています。

会員各位におかれましては事情をご理解賜り、会費納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。

なお、昨年よりコンビニからの入金が可能となりました。振込に際しては用紙をご確認下さい。

年会費 3,000円

終身会費 30,000円

振込方法

●郵便局、コンビニの場合

同封の「振込取扱票」にてお願い致します。払込料は同窓会負担。用紙にご注意。

●銀行振り込みの場合

北洋銀行本店営業部 普通 0666955

北大経済学部同窓会 会長 上野昌美

北海道銀行本店営業部 普通 0754677

同上

○住所、勤務先などの変更については、事務局までお届け下さい。特に本学部の卒業生は転勤も多くつい届け出を忘れがちで、毎年かなりの会報が「宛先不明」で返ってきます。メール、電話を宜しくお願いします。

◆「前結び」で二重太鼓も振袖もひとりで着られます◆

私どもの前結びでは“ひとりで、簡単に、きれいに、楽に”着物を着ることができます。

<受講料>

◎振袖コース…10,000円（5回×各回2時間）

◎袴コース……10,000円（5回×各回2時間）

◎お太鼓なども2,000円（2時間）で行っております

☆お太鼓教材セット（帯板+帯枕）購入の方は初回の受講料を無料といたします

☆在校生は帯板を学割いたします

☆本学卒業生・在校生は入苑料2,000円が無料です

◆お気軽にお問い合わせください◆

前結び道家



<きもの2分・帯3分>徹底した個人指導を誇る

きの和装学苑

KINOWASOUGAKUEN

【河合教室】師範・着付士 河合愉美子（経済学部：S61年卒）

Tel：080-5012-6723

Mail：north-white-n43@docomo.ne.jp

教室：札幌エルプラザ（北8西3）他、出張もいたします



信念を持って

～アカスクでの充実の日々～



井上 勇太
会計専門職大学院 1年

僕は学部での2年生の秋から公認会計士試験の勉強を始め、在学中に公認会計士試験に受かり監査法人に就職するという夢を描いていた。しかし現実はその甘いものであるはずもなく、短答・論文とある公認会計士試験のうち短答に受かったのが4年生の12月である。短答は3回目の受験で合格したのだが、正直心が折れかけていた。(当然だが) 難しい試験なのである。

さて、僕が会計専門職大学院通称アカスクに進学しようと思ったのは2回目の短答に落ちてからである。つまり昨年の6月である。先ほども書いたように、僕は大学在学中に公認会計士試験に合格するという計画があったため、アカスクに進学するという考えはまったくなかった。しかし、この公認会計士試験、いつ合格できるかわからないのである。このまま大学を卒業していつまでも合格できなかったら…なんてことを考えたらアカスクに進学して会計・監査のより深いレベルでの授業を受けながら試験の勉強を続けるという選択肢もありなのかなと思い、先輩の話を参考にしたり友達に相談したりして進学することに決めた。

そんな経緯でアカスクに進んだ僕だが当初は授業も大学の授業と大きな変化はないのではないかと考えていた。しかし、入学して2ヶ月が経過したいま、そのような考えはもうない。学部時代は一つの授業で100人以上の生徒が一つの教室に集まるなんてこともあり、出席をとらない授業に関しては期末のレポートを提出しさえすれば単位がでることもあった。僕も会計士試験に近い時期には授業を欠席することもあった。不真面目である。

それに対し、アカスクの授業は少人数で実施される。そのため授業では学生が発言する機会が多くなり、積極的な姿勢で授業に臨まなければならず、欠席などしているひまはない、というか誰がいないのかななんてすぐにわかってしまうのでできない。授業自体も学部時代と比較してより専門的になりその内容は濃いものとなった。プレゼンやグループ・ディスカッションもある。毎回の授業に新しい発見がある。

また、授業をいっしょに受ける仲間の多くが自分と同じ公認会計士志望であり、同じ目標に向かって努力する仲間の存在が僕にとって心強いものとなっている。公認会計士試験は難関試験であり、自分一人で合格するのは困難であ

る。試験は団体戦だ！とか誰かが言っていたが、公認会計士試験に関してはその通りだと思う。

いまは8月の論文式試験に向けてひたすら勉強の毎日である。アカスクの授業でもプレゼンがあったり、レポートを課されたりとなにかと忙しいが、いまは毎日が充実していてまったく辛さはない。このまま良い精神状態で大学院生活を送りたいと思っている。そして、願わくば！じゃなくて絶対に！今年の8月の論文式試験に合格してやろうと思っている。

私の就職奮戦記

～メゲずに壁を乗り越えました～

後藤 佐理
経済学部 4年



※中央左から4番目

私の就職活動は、2012年の夏のインターンシップから始まりました。インターンシップが行われた東京では早くから就職活動を行っている意識の高い学生ばかりで驚愕しました。この時期北海道では、私の知る限り周りの学生はほとんど就職活動をしていませんでしたので。インターンシップに参加して、良かったことは意識の高い学生との交流や情報交換、そして企業で働くということを体感できたことです。

夏が終わり私は、10月から自己分析をし始めました。このころから、少しずつ周りも就活モードに入っていく12月からは就職活動が本格的に始まり、学校内外での合同説明会や個別説明会が始まりました。たくさんの企業資料をもらい、人事の方のお話をノートにまとめる日々が続きました(最終的にノートは4冊にもなりました)。1月からは、更に個別説明会が増え一日に3回あることもありました。また金融企業のリクルーター面接も徐々に入ってきました。面接というよりは、OBOG訪問のような先輩に就職活動について話をするという形式でした。ここで、面接に慣れていき徐々に始まっていった本格的な面接に備えました。このころは、毎日のように図書館に行きエントリーシートを書いていました。先輩や教授は忙しいので、ゼミの同期や学部の友人とエントリーシートを推敲しあい

ました。朝起きて、図書館に行き閉館するまでいることが多くなっていました。

3月末から4月にかけて面接が始まりました。4月の頭には内々定が出る人が出始め、焦りを感じ始めました。この時期に内々定が出ていた学生は金融志望の人たちで、私が志望していたメーカーは時期が遅かった為、焦ることはなかったのですが…。この時期は一日に3社ほどの面接が入ることもあり、自分がどの企業に来ているか間違うほどでした。私の内定が決まったのは5月の中旬でした。最終的には、以前から興味を持っていた住環境に関わるメーカーへの入社を決めました。

企業選びの際は選り好みをしませんでした。グローバルに働ける、自己成長ができる、社会貢献ができる、女性でも活躍できるという4つの基準を満たせる企業を見ていました。その基準を満たす企業の説明会や選考を受け、人事や社員の方たちから社風を感じ取って、自分に合うかどうかを考えました。選考が進むにつれて、企業を絞っていき真剣に企業研究をしました。その中で私は海外に住んだ経験から日本を世界で強くしたいという思いに沿える、日本の強みでもあるモノづくりに関わるメーカーへの志望が強くなりました。最終的に働いている人や社風、自分のやりたいことができるかということを考え内々定先に決めました。

私は就職活動をして、とても楽しかったと思います。もちろん辛いこともたくさんありました。エントリーシートや面接が通らなかったり、周りが内々定をもらっているのに自分はなんで、女だから落とされたのではなどと卑屈になることもありました。友人と一緒に泣くこともありました。しかし、様々な企業の人事の方にお話を聞き自分の視野が広がったり、新しい友達ができたり、自分自身を見つめるきっかけになったのではないかと思います。そう考えると就職活動は、大学生活で与えられた乗り越えなければならぬ壁で、それを越えることで社会人に向けて一回り成長できたのではないかと考えています。

「ああ、上野駅」 ～卒業50年に寄せて～



吉 田 喜久雄
(筆名 朝比奈 知 彦)
(昭和38年卒業)

「どこかに故郷の香りを乗せて、入る列車の懐かしさ…」。

井沢八郎の「ああ、上野駅」の一節である。

この歌には、北から上野に降り立つ青少年の人生がドラマチックに込められている。

今でも、私たちが年に幾度か集まる飲み会のカラオケは、私か、同じ日に一緒に上野駅に降り立った法学部卒のA君のこの歌から始まる。

私たちは大卒だからまだしも、中学校卒業の少年たちには、もっと切実で不安を抱えた上野駅終点であった。でも、私たちも故郷を遠く離れる気持は同じぐらい切なかったと記憶する。

北大を出てから半世紀の歳月が流れ、その社会構造も、過去の人間中心のアナログ的な常識的なものではなく、バブル経済崩壊以降、切羽詰まった政界や経済界など、国の要人たちはIT社会にその突破口を求めた。

50年の間には、日本は世界に類のない高度成長に希望が膨らむ時代から、頂上があれば下山の危機のある現実にも逢着した。

しかし、北大卒であれば、その頃の中心的企業人、サラリーマンとして「和」の精神を胸に、定年まで勤め上げ、「大過なく云々」と定年の挨拶状が出せた人々が普通であった。

「大過なく…」というのは、今の言葉にすれば、「何もしないで逃げていたから…」とも言えようが…。

そんな一般大卒とは離れて、「ボーイズ、ビー・アンビシャス！」を追った私は、自己責任の世界に放り出されるのも早かった。

卒業後を回顧すれば、戦後の社会の流れに漂いながらどうにかこうにか即応して生きてきたようにも思える。

その頃は高度経済成長で、右肩上がりの収入、物質的所有の幸せを感じながら希望に満ちていた時代であった。

若かったのか、甘かったのか、まだ青かったのか、「青雲の志」をまだ持っていた私は、友人知人、家族親戚に、幾度も引き留められながらも、実力世界への飢餓感に満ちて、優良企業「花王石鹼（現 花王株式会社）」を去り、消費財マーケティングのないデザイナー産業のアパレルへ転職した。

優良企業のサラリーマンか、公務員が絶対的安定職業と言われ、「転職は悪だ、馬鹿だ」と言われていた時代に背いてまで…。

そこで、「婦人服だけなぜ売れる」というデザイナー産業で、商圈マーケティングや、婦人服のゾーン・マーケティングなど提唱したが、理論の嫌いなデザイナー好きの社長には2年間で別れざるを得なかった。

なんと、次の手当でもせず辞めて、家族にはかなりの迷惑をかけたが、数か月後、「花王」マーケティングのブランド・マネジャーだったことから外資系広告代理店に迎えられた。1年ぐらひは、夜は会話学校、朝は社の「早朝会話学習」と、習得した日本マーケティングの経験を、いかに外国人相手に理解させるか苦労の連続であった。

クライアントは世界有数のコカ・コーラであり、電話も「ハロー」でかかってくる。英語とマーケティングで毎日過ぎていった。

その後、日本に外食産業の上陸、マクドナルドとケンタッキー・フライド・チキンの激戦に転職させられ、日夜ない激務で初めての挫折、「ウツ」に倒れた。

それまで下山の配慮が足りなかった日本経済は、バブルの崩壊と、これまでの雇用のシステムまで根底から崩されてしまった。

経済規模に合った雇用／人材にと、企業社会で一番膨らんでいた中間管理職排除が始まった。そこへ、事務機器の効率化／高度化がそれに拍車を駆けた。

前線撤退していた私は、そんなリストラ社会の格好なターゲット。外界で、自分の本当の価値（底値）を知る結果になった。

「君の実力なら大丈夫！」と、即、人材会社に預けられたが、中高年求職は、今の学生の就活の比ではなく、待遇～年齢のミスマッチで全戦全敗。その記録を克明に書いた日記を基に「中間管理職」受難を書いた小説が売れて、私をして初めて自立させた。書けば格好が良いが、「フリーランス」とは、会社が面倒みてくれていた給与以下全ての経費も自分で稼がねばならないものであった。それからの仕事は自分の努力と運次第な部分も多かった。

先年、今度は「前立腺ガン」と、振り返れば、ツキのない日々のこれまでだった。しかし、「ああ、上野駅」と「少年よ、大志を抱け！」の精神でここまで来られたようだ。

今、ラスト・メッセージとして、「ウツは死にたい！ガンは生きたい！」（出版社未定）を書いている。

卒業50年のモニュメントみたいなものである。

着物を日常着に… ～和服でお仲間に～



河合 愉美子
(昭和61年卒業)

北大を卒業し、建設不動産関係の仕事に従事したあと、縁あって横浜に嫁ぎ、気づけば主婦として15年の歳月がたっていました。一人暮らしの実父もそろそろ不安になり、同居したいとのことで、大震災のすぐ後に札幌で再び暮らすことになりました。

実家に帰って思い出したのが、20歳の頃、亡祖母が詠えてくれた着物です。一度も袖を通さず、タンスに眠っていたままになっていたものを整理していると、長い間心の中にあった「一人できちんと着られるようになりたい」という思いが強くなってきました。従来に着付け方で何度も練習してみましたが、左手首の痛みもあり上手くいきません。綺麗に着られる他の方法はないかと探していたとき、帯を前で結んで後ろに回して着るという着付け法に出会いました。

同時に日本舞踊を始めていたのですが、お稽古では必ず着物を着なくてはなりません。とりあえず二重太鼓ぐらいまでできればいい、と考えていたのですが、袋帯で何種類もの変わり結びができるものですから、次から次へと楽しんでお稽古が進みました。着物も洋服を着るような感覚で簡単に着ることができ、しかも崩れない着方ですので、これからはこれに限ると感じました。そうして昨年、師範と着付士の資格を取得し、これからは多くの方にも伝えたいと、今年から幅広い年代、職業の生徒さんに指導しております

私の日常生活では、外出は和服で、ということが多くなりました。特に外食は日本料理店がほとんどになりました。今まで縁のなかった歌舞伎などの伝統芸能、また浮世絵をはじめ日本画や書などの和 문화に惹かれ、実際に鑑賞する機会も増えてきました。これからは、京都・奈良はもちろん倉敷や金沢など、歴史があり和服の似合う町へ旅してみたいと計画しております。

“着物は着せてもらうもの”という意識がまだまだあるかと思いますが、簡単で楽に着ることができれば、お祖母さまやお母さまの和服を大切に受け継いでゆくことができるのではないのでしょうか。

これからも、お稽古事や街歩きで着たい方はもちろん、若い世代、特に卒業式の振袖や袴を自分で着られるお手伝いもしてまいりたいと思います。そして、一人でも多くの女性に和服美人になっていただけるよう活動しながら、日本の美しい文化と芸術の継承という事にも貢献できたら、と考えております

来たる9月7日(土)には、札幌エルプラザにおいて、「エルプラザまつり」(3階:10～16時)が開催されます。そこでは〈前結び〉の体験会や帯のオブジェの展示などをいたしますので、皆様お誘い合わせの上、ご来場いただければ嬉しく思います。私がお案内させていただきます。

また、着付教室の生徒さんや友人から「和服でお出かけ会」をしたいという声がありましたので、着物好きの方であればどなたでも参加できる催しも行っております。

これから浴衣の季節になりますね。夏祭り、ビアガーデン、花火大会等もありますので、是非お仲間になりませんか？



釧路・永友会の活動について ～気さくで有意義な集まりです～

富田 千草
(平成25年卒業)



紅一点が私です！

昨年度3月に経済学部を卒業し、4月から新社会人として釧路市での生活が始まったばかりの私が、今回永友会の活動報告ということで筆をとらせていただくことになりました。

4月に行われた職場の歓迎会で、北海道大学の先輩である上司から「永友会という会がある」というお誘いを受けたことが会に入るきっかけでした。

永友会とは、釧路市在住の北海道大学法学部・経済学部の卒業生が集まる会であり、会員数は今年度6月で33名を数えます。その職種は、経済界、法曹界、大学教員、地方議会議員、マスコミ、公務員等多岐にわたり、その年齢層も幅広いものです。初めて当会の存在を知ったときは、札幌市から離れた釧路市であっても多くの卒業生が集う機会があることに正直驚きがありました。

当会は、例年6月上旬に年1回の懇親会を開催しています。今年は6月5日に釧路プリンスホテルでゲスト2名を含む19名の参加を得て開催されました。

懇親会は穏やかな談話から始まり、ビンゴゲームやテーブルスピーチなども行い、年代や職種の垣根を越えて大いに盛り上がりました。特にテーブルスピーチでは、様々な分野で活躍されている諸先輩方のお話を聞くことができ、とても勉強になりました。卒業から年数が経つ中でも北海道大学の現状を気にかけて多くの方が足を運んでいること、今現在どのような仕事で活躍しているのか、今後自分たちが暮らしている釧路市にどのように貢献していきたいか、等の様々なスピーチを聞き、自分自身がこれから釧路市でどのように頑張っていきたいのか目標を考える良い機会になりました。テーブルスピーチが一通り終わり、毎年恒例で締めに歌われるという「都ぞ弥生」を斉唱し、懇親会は終了しました。

今回の懇親会を終えて、「同窓会」という繋がり的重要性を感じました。同窓会でなくては、こんなにも多種多様な年代・職種の方と気さくに話を出来る機会はなかなか

いだろうと思います。先輩方から、近年は出身大学の情報を集めるのが難しいとも聞きましたが、転勤などで釧路市にお越しの方がいる際には是非とも情報提供をお願いしたいと思います。来年度も更なる会員数の増加と多くの方が参加する有意義な懇親会が開かれることを祈念して、本年度の永友会の活動報告を終了させていただきます。

されど、ラーメン。 ～これまでも、これからも～



杉本 直栄
(昭和48年卒業)

今年の4月で卒業40年になりました。学業20年仕事40年さあこれからの20年どう締めくくるか楽しみでもあり悩むところでもあります。

60過ぎると食事の好みも少し変わってきましたが、振り返ってみると北海道育ちのせいか米の飯を除くと麺類特にラーメンを良く食べました。個人的な思い入れも若干ありますがラーメンにまつわる思いを書いてみます。海外では今はラーメンは寿司と並ぶ日本食の代表として認知され即席麺は世界の消費量が年1000億食を超えたそうです。

受験勉強時代はカップ麺がまだありませんでしたので(昭和46年発売)チキンラーメンなど夜食に大変お世話になりました。

北大時代はまだ札幌ラーメンがブランドとして確立されてなくもっぱら13条に住んでいた私は、家庭教師の帰りなど13条電停前にあった中華屋さんの野菜たっぷりの味噌ラーメン専門でした。クラーク会館のラーメンも良く食べましたね。記憶が定かではありませんが当時30円か50円でしたでしょうか。今はいくらになったのかな？

ところで計数的なものを少し調べてみますと、ラーメン店の総数は平成24年で全国34,000軒程で逐年減少傾向にあるようです。県別では一番が東京3,800軒2番がなんと北海道で2,100軒道産子はやっぱりラーメン好きなようです。但し人口10万人当たりの軒数では平成21年のデータでは1番山形70軒、北海道は11番で38軒、博多豚骨の福岡は27番27軒で全体として東日本が多くうどん文化の西日本が少ないようです。

ついでに発祥を調べますと、江戸末期開港された横浜、神戸、函館などの中華街で食べられていた中国の麺料理がルーツらしく大正時代に全国に広まった様です。

札幌は大正時代北大正門前にあった「支那料理竹家」が草分けで当時の今裕(こん ゆたか)北大総長が良く行か

れたそうです。

自分のことに戻りますが、転勤で熊本に5年最初は豚骨スープに慣れるのに閉口しましたがいまでは大好きです。盛岡ではわんこそば、冷麺、じゃじゃ麺と麺の種類が豊富ですが美味しいラーメンもたくさんあります。最近ラーメン博物館だのラーメン横町だのが全国各地に開設され私の住んでおります船橋市にもあります。

今勤務しております恵比寿の会社の半径500メートル内にラーメン店が30店程あります北は純連・満龍・函館塩ラーメン…喜多方…東京有名店…神座（奈良）…南は博多一風堂・沖縄そば、ラーメン好きの私には絶好のロケーションなのです。

ラーメン好きの御同輩も多いと拝察いたします。特に一杯やったあとはついつい誘惑にかられますが。しかし今後は減塩云々で食する回数の制限とスープを残す等の自主規制をしながら楽しみたいと思っています。（計数・歴史はネットで調べました）

おおーい、経済東京同窓会に 集まれえ！

～新会長に就任しました～



陣 谷 義 直
(昭和51年卒業)

平成24年度から毛塚会長の後を継いで、北大経済学部東京同窓会会長に就任致しました昭和51年酒井ゼミ卒の陣谷義直でございます。微力ではありますが、この大任を務めさせていただきます、どうぞよろしくお願いいたします。

実は、私も東京同窓会との関わりは7年ほど前と割と最近であり、当時の経済学部会長であった早野先輩に半ば強引に東京同窓会に引き込まれたのがきっかけであります。それまで、東京勤務が長かったものの同窓会組織があるとはつゆ知らず。

このように、多くの卒業生が同窓会の存在を知らないのが実情ではないでしょうか。

同窓会とは、色々な雑事を引き受けなければならないし、会費程の効果もない、それならいっそ、同窓会に加入せずとも部活仲間や同期卒のメンバーと楽しくやっていけばいいとの方が大勢いらっしゃることでしょう。

さて、そうした中で、同窓会で広報担当（フロンティア・東京同窓会広報誌）の短い経験のなかで実感した同窓

会の魅力をつづってみます。

まず、同窓会に入らなければ知りえなかったことが実に多いことに気づかされました。

2004年、北大のシンボルたるポプラ並木が台風で倒壊、構内にある大木がなぎ倒された光景を見て、いかに自然環境に恵まれた大学かを再度強く認識しました。苗木を植え直したポプラ並木の生育を広く知らせたく、写真を中心にポプラNAWとして、フロンティアに掲載しました。

経済学部斜め前、工学部の横には大野池があり、きれいな水に、カモが泳ぎ、特に夏には一服の清涼を与える場所となっています。その大野池をフロンティアの表紙として使いましたが、どこなのかとの声を多くいただきました。また、大先輩からは、大野池は厳冬結氷したので、天然のスケートリンクとして学生が大勢利用したとのこと、今じゃ、温暖化でそれもととも無理。

化学科卒の叔父宅で理学部同窓会会報誌「るつば」があり、昭和40年代の会報誌を見たところ、驚きの史実を発見。なんと桑園駅から工学部の裏手まで、線路がひかれ、暖房ボイラー用の石炭列車が走っていたこと、北18条の体育館敷地では、職員、学生が自動車教習所コースを自前造成、坂道発進の小山、丁字路、踏切と、ここで盛んに運転練習を繰り返したとのこと、勿論無料でしょう。同窓会に関わってほんとに母校の歴史雑学には通じました。

もっと感慨深いのは、多彩な光を放つ、同窓の先輩、同期、後輩の人材の豊富なことです。

経済学部第1期卒の故門奈一大先輩が、長らく会長を務められた昭和19年北大予科入学同期会である楡陵会は、近時まで継続されていました。ここでも、会員の親睦のための機関紙を発行され、この中から抜粋してフロンティアに掲載しました。戦時中の予科生と敗戦濃厚な戦地に赴く北大卒の先輩将校とのやりとりは、「クラシック喫茶は軍人将校が来るところではない、出ていけと予科生が覚えたてのドイツ語で『ゲーテ・ゲーテ・ゾルダーテン』とはやし立てた。その将校は申し訳ない、私も君たちの先輩でこれから戦地に赴くところ、こんな時代だ、生還期し難い事情にある。札幌の最後に、都ぞ弥生で送り出してくれないか。都ぞ弥生を歌っていたところ、気が付くと2人の将校の姿はなく、『兵隊さん、手袋で目を押さえるように、出て行かれました』とセコンドの女の子が言った」と、これも歴史の一コマ。

経済同期の米沢修吾氏は札幌在住、酒井ゼミの勉強会を主宰し、先輩にも声をかけて輪読会を開催しています。酒井ゼミ後輩の上野正彦氏 日銀札幌支店長時代に、札幌での経済学部同窓会で講演をされ、その席で卒業以来の顔あわせとなりました。この時の原稿をお借りして、フロンティアにも転載させていただきました。

在学生による北大卒業パーティーは、東京同窓会も支援する取り組みであり、パーティーの主催者の多くは、関東地区に就職すると同窓会にもすぐに加入してもらえます。

特に、経済学部卒の割合が高く、20代で理事、評議委員に就任し活躍をされています。こうしたつながりは今後

とも大事にしていく必要を痛切に感じています。同窓会での、経済若手の活躍をご紹介します。今年初めての試みの北大東京ジンパは、昨年までの新社会人歓迎会に代わるものとして、実行委員長 常松尚史君（平成20年 経済卒）を中心に、北大同窓生により首都東京でジンギスカンパーティーを行うもの、七輪とジンギスカン鍋で実現する懐かしのスタイルと銘打っています。

上京したての新社会人をジンギスカンでお祝い、おもてなし、そして幅広い年代との交流により北大とジンパの歴史を体感。6月8日 ゆりかもめ お台場駅 潮風公園でのジンパは大成功でした。ここにも頼もしき、経済卒後輩が活躍中です。

札幌・経済学部同窓会とも益々連携を深め同窓会活動の輪を大きくしていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いたします。

ドラマ「清き國ぞとあこがれぬ」の制作に関わって

～関係者の熱意と行動もまたドラマでした～



佐藤 市雄
(昭和42年卒業)

教養時代の1年半を恵迪寮で過ごした縁で、2009年暮れから恵迪寮同窓会の幹事となった。丁度そのころから「都ぞ弥生」百年記念の一大イベントの準備が始まり、映像委員会の委員を仰せつかった。映像委員会と言われても一体何をすればいいか悩んだが、委員会で討議しているうちにドラマを制作してみようということになった。これは一寸大変なことになってきたなと内心思ったが、委員の1人が元HBC社長で現役の頃に東芝日曜劇場等のドラマ創りを数々手がけられた農学部OBの長沼修氏（現札幌ドーム社長）に相談してみようと言ってくれた。2011年1月HBCの役員室で氏との初顔合わせをしたが、その時はドラマを作るにはかなりの費用がかかり大変だよということだった。その後、何度かの委員会で困難ではあるが何とか可能性を探っていこうと話し合った。その中で、歌詞の1番にある「清き國ぞとあこがれぬ」、5番の「貴き野心の訓え培い」最後の「われらが寮を誇らずや」が寮歌「都ぞ弥生」の核心部分であり、作者横山芳介が込めた想いを現在の世に問う意義は大きく、メッセージ性のある映像を何としても制作したいと思った。この間に東日本大地震が発生したことで、尚更この思いは強くなった。

こうして盛り上がった我々の熱意に長沼さんがシナリオを書こうと応えて頂き、元副学長の藤田正一さんの協力も得て、素晴らしい脚本が出来上がった。

シナリオが出来ても、問題は金である。制作費に1千万以上かかるということで、当初は消極的な意見もあったが、先ず北大と連合同窓会の支援決定で力を得た。長沼さんのアドバイスもあり、スポンサーやDVD販売での制作費調達のスキームができ、ドラマ制作に進むことになった。コマーシャルや協賛金をお願いするため、同窓生のルートを通じて有力企業回りやOBの経営する病院等も回り、また本州のOB関係の企業からもご支援を頂き何とか目処が立ってきた。こうして今回はオール北大の力が如何なく発揮された。

早川渉監督の演技指導の下で好演技が光った応援団を中心とした現役学生、意気に感じて、快くナレーションを引き受けて頂いた女優・竹下景子さん、数々の美しい写真映像や南北戦争の画像等を苦勞して集めたHBCの制作陣ら、そのほか多くの関わった方々の熱意により我々の当初のイメージをはるかに超えた素晴らしいドキュメンタリードラマが完成した。

幸い、HBCの放送は予想外の視聴率となり、それ以降も反響は大きく紀伊國屋書店の6月のDVD販売ランキングは2位を記録した。DVDには「都ぞ弥生」の特典映像・解説と合唱も付いている。是非このDVDをお求め頂き、再度このドラマをじっくり味わってドラマに込められた北大精神に想いを寄せて頂きたいと切に思う。

尚、先にも書いた、長沼さんを紹介してくれドラマの制作に心血を注いでくれた委員は農学部OBの奥田晋一さんである。彼は2月末にドラマの完成を見ることなくガンのため急逝された。おそらく彼がいなかったらこのドラマはできなかっただろうことを思うと残念でならない。ご冥福を心よりお祈りいたします。





北海道日豪協会パーティーにて

14代経済学部長・石垣博美名誉教授 が逝去されました

平成25年7月6日、北大のみならず国内外に大きな足跡を残された石垣先生がご逝去されました。同窓会事務局のもとに、荒又重雄名誉教授が追悼の原稿を寄せられましたので掲載します。

石垣博美先生のご逝去をお悼み申し上げます。

石垣博美名誉教授が、去る七月六日に享年九〇歳でお亡くなりになりました。高齢になっても新しい社会事象に対する好奇心は衰えず、最後まで明るく確かな意識でまわりの後輩たちを励まし続けておられました。

石垣先生は一九二三年道北の士別に生まれ、庁立旭川中学、松本高等学校を経て東京帝国大学経済学部に進学され、学業中召集されたが終戦とともに復学、東京大学卒業と同時に北海道大学法文学部経済学科に採用されるという大秀才でした。その後東京大学玉野井芳郎教授の下で後期古典派経済学を研究して一九六一年に博士となり、北大では一九八六年の御定年まで経済学説史の講義を担当されました。労働価値説学派と効用価値説学派が、厳しくかつ行儀良く議論があった記録の翻訳を二冊、バーム・バヴェルクを含む一つは玉野井芳郎先生との共訳、ボルトキュヴィッツを含むもう一つは上野昌美さんとの共訳で、公刊なさっています。

一九六九年にアメリカに留学されて以降、一九七一年にポートランド州立大学、一九七三年にオーストラリア

のニューサウスウェールズ大学に留学される等々、度々の在外研究の経験に立って、戦時下に国際的に孤立したことが原因となった生じた日本の学界の弱点克服を目指し、フルブライト基金、国際交流基金、ロータリー財団、姉妹都市関係や米国等の在日本公館などとの縁を活用して、研究仲間と後輩の研究・教育の国際化に努力を傾けられました。先生のお陰で在外研究の機会を得た後輩や学生たちは驚くほどの数です。

北大を会場とするアメリカ研究クールセミナーや、ポートランド州立大学との学生・教員交換は、わが国の大学における研究教育活動国際化で先駆的な経験でした。特筆すべきは、地域社会の協力を得て、ワッシー・レオンチェフが指導していた国際学会は、地元の後輩たちにも大きな教育的効果を持ちました。

そうした貢献で一九九八年に勲二等瑞宝章を授与されておられます。ご冥福をお祈り申し上げます。

(荒又重雄 記)



北海道大学認定

同じ札幌の地で歴史を育む「札幌唯一の酒蔵 千歳鶴」が、創業135年の伝統の技で丹念に醸し上げました。原料米は、北海道が誇る酒造好適米「吟風」を、仕込水には北海道大学苫小牧研究林の湧水を使用した北海道産100%のこだわりの逸品です。



斜めにも置くことができます。



梅酒
雪の天使たち

180ml詰
800円(税込)



500ml詰
2,000円(税込)

特別純米
ポプラ並木



500ml詰
2,500円(税込)

大吟醸
ポプラ並木

札幌市北区北8条西7丁目
北大グッズ受注センター ⑭エルムプロジェクト 担当/近澤
TEL011-708-0388 FAX011-708-0389 <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp>

お問合せ先

札幌市北区北8条西4丁目(北大構内)
北大ショップ 北大交流プラザ エルムの森ショップ
TEL011-708-7540

売上金の一部は、北海道大学の運営費に充てられます。

●お酒は20歳になってから。●妊娠中・授乳期、また自動車・機械等の運転前、運転中の飲酒は避けて下さい。●お酒はおいしく適量を。●表示価格はメーカー希望小売価格(税込)です。

日本清酒株式会社 札幌市中央区南3条東5丁目2番地 ☎0120-012562 <http://www.nipponseishu.co.jp>

名 刺 広 告

株式会社 石川物産館
恵 愛 ビ ル

代表取締役

吉 中 新太郎

(経 昭和30年卒)

〒064-0804
札幌市中央区南四条西四丁目十六番地
電話代表(011)271-0011番

からだが不自由な子供たちの図書館
公益財団法人 ふきのとう文庫

代表理事

高 倉 嗣 昌

(経 昭和36年卒)

業務執行理事

阿久津 良 二

(経 昭和37年卒)

札幌市西区平和三二五番地
TEL 011(665)4839

有限会社 バリアス

代表取締役社長

斎 藤 洲 男

(経 昭和37年卒)

札幌市中央区南一条西十一丁目一番地
みとか南ビル

ぬくもりの宿
運河の宿 おたる
海の別邸 ふる川
代表取締役

古 川 善 雄

(経 昭和37年卒)

札幌市南区定山溪温泉西四丁目
TEL 011(598)2345

弁護士 公認会計士

伊 東 孝

(経 昭和34年卒)

札幌市中央区大通西十丁目八通ビル
TEL 011(271)2475
FAX 011(281)5809

中川原・石黒税理士事務所
税理士

中 川 原 慶 憲

(経 昭和41年卒)

札幌市中央区南一条東一丁目一番十号
第三泊ビル
TEL 011(271)8462

山田建一税理士事務所

税理士

山 田 建 一

(経 昭和41年卒)

札幌市北区北九条西五丁目一番十九号
TEL 011(746)5646

札幌監査法人

代表社員 公認会計士

高 野 一 夫

(経 昭和45年卒)

札幌市中央区南一条西十一丁目新永ビル
TEL 011(261)7512

山崎公認会計士事務所

公認会計士 税理士

山 崎 駿

(法 昭和45年卒)

株式会社ポイントプラス

代表取締役社長

加 我 稔

(教 昭和46年卒)

札幌市北区北九条西四丁目一番地三
エスタINガレリア
電話 011(738)8167

株式会社 エーティーエルシステム

顧問

内 藤 治 生

(経 昭和46年卒)

山梨県甲府市相生1-4-23 日本興亜ビル
電話 055(220)6456

弁護士

吉 川 正 也

(経 昭和46年卒)

札幌市中央区大通西十丁目南大通ビル4階
TEL 011(261)6677

上野公認会計士事務所

公認会計士

上 野 昌 美

(経 昭和47年卒)

札幌市中央区南23条西9-1-25
TEL 011(522)8170

毛 塚 富 雄

(経 昭和47年卒)

濱 向 昭 一

(経 昭和47年卒)

芦別市北一条東一丁目九番十二
電話 01242(2)5295

遠藤公認会計士事務所

公認会計士

遠 藤 昭 一

(経 昭和48年卒)

札幌市東区北二条東十八丁目二番二号
TEL 011(783)8123

株式会社 ジャックス

相談役

杉 本 直 栄

(経 昭和48年卒)

厚生病院と配置薬で命を守る
北海道厚生農業協同組合連合会
常任監事 公認会計士

中 島 逸 史

(経 昭和49年卒)

〒060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1番地
電話直通(011)2332-6525

弁護士

工 藤 倫

(経 昭和50年卒)

札幌市中央区北五条西十二丁目一番地
ベルックス北ビル B館2階
TEL 011(261)5275

田中利男税理士事務所

税理士 中小企業診断士

田 中 利 男

(経 昭和50年卒)

札幌市中央区南一条西六丁目
理小路プラザハウス五〇六
TEL 011(261)2061

株式会社 ターフテック

代表取締役

宮 本 裕 司

(経 昭和50年卒)

北広島市大曲工業団地五丁目一番地二
TEL 011(377)4011

不動産鑑定士 宅地建物取引主任者

目 黒 健 兒

(経 昭和54年卒)

メグロオフィス株式会社 代表取締役
札幌市中央区南一条西八丁目十四番地
大友ビル四階(南一条通沿い南向き)
TEL 011(218)3366

不動産の鑑定評価と仲介

監査法人 ハイビスカス

代表社員 公認会計士

堀 俊 介

(経 平成6年卒)

札幌市中央区南一条西9丁目井門札幌S109ビル
TEL 011(826)5265

税理士法人 ヒラマツ

札幌事務所所長 社員税理士

石 靖 士

(経 平成12年卒)

札幌市中央区南一条西九丁目一
プロヴィデンスビル4号室
TEL 011(242)11414
FAX 011(242)11405

中村泰道会計事務所

所長(公認会計士・税理士)

中 村 泰 道

(経 平成12年卒)

札幌市北区北7条西2-20 東京建物札幌ビル2階
TEL 011(260)2624
E-mail: y-nakanura@nakanura-cpa.jp

牧田税理士事務所

税理士

牧 田 秀 崇

(院経済 平成22年卒)

苫小牧市音羽町一丁目8番6号
TEL 0144(34)0385
URL: <http://www.taxmaki.com>

平成25年7月期 収支報告書

自 平成24年8月1日

至 平成25年7月31日

	項 目	金 額(円)	備 考
収 入	前期繰越金	4,300,946	
	会 費 収 入	1,608,145	終身会費42名など
	広 告 収 入	302,000	会報28号掲載分
	総 会 収 入	163,000	
	そ の 他	42,293	寄附、金利ほか
	計	6,416,384	
支 出	消 耗 品 費	64,289	Windows7ほか
	会 議 費	0	
	総会懇親会費	149,505	
	助 成 金	170,000	卒業祝賀会助成：優秀論文賞
	通 信 費	326,549	会報発送費241,740円ほか
	会 報 作 成 費	384,790	
	旅 費	60,000	東京同窓会出席ほか
	事 務 費	600,000	事務局実費
	印 刷 費	32,415	
	雑 費	12,984	
	計	1,800,532	
	次期繰越金	4,615,852	
	合 計	6,416,384	

平成25年7月31日 普通預金 4,022,783円

郵便局 572,990円

現金 20,079円

会報編集委員

上 野 昌 美 (昭和47年卒) (編集委員長)

高 倉 嗣 昌 (昭和36年卒)

斎 藤 洲 男 (昭和37年卒)

中川原 慶 憲 (昭和41年卒)

佐 藤 市 雄 (昭和42年卒)

宮 本 裕 司 (昭和50年卒)

河 合 愉 美 子 (昭和61年卒)

田 中 賀 代 子 (平成7年卒)

岩 本 栄 一 (昭和49年卒) (事務局)

/ 編 / 集 / 後 / 記 /

○「新渡戸カレッジ」という、国際的人材を育てる注目すべきプロジェクトが発足しましたが、都会育ちのヤツな語学エリートではなく、北だらしいパワフルで視野の広い人間を輩出してほしいものです。クラーク魂を持った骨太の卒業生が世界の将来を変えていく…考えただけでも楽しいものです。

○同窓会活動に対して否定的な御意見として「カネを請求されるのでは」「成功者の集まりでは」「面白い企画が無い」「イデオロギー対立が尾をひいているのでは」「男中心」等々の声を耳にしますが、全くの誤解です。確かにカネはありません(笑)が、今の役員が成功しているとも思えず(役員さん、失礼!)、ましてや政治の影響などはツコほどありません。面白い企画が無い点は謙虚に反省しています。皆さんの中でいいお考えがあればお寄せください。「女子会」など只今企画中です。

○卒業生の就職活動に対し、事務局の方からお願いして御協力(面会など)をいただいた企業OBの方に厚く御礼を申し上げます。このほかにも大学側から同窓会への協力要請が増えてくると思われますので、その折は宜しくお願い致します。

○同窓会事務局は経済学部棟3階にあります。母校に訪れた際にはお気軽にお立ち寄りください。月、木、金午後は原則常駐です。また、皆様へのお知らせなどホームページに掲げていますのでご参照ください。さらにFacebook もアップすべく準備中です。

(岩本 記)



(株)ブライダルは北海道大学経済学部同窓会の皆様の「結婚」を応援します。

35年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に北大校友の皆様には平成18年より「北海道大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「北大経済学部同窓会報」を見たとおっしゃってくださいれば、校友の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にてお世話させて頂きます。

北海道大コース

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥204,750 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥362,250 etc.

●価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。



下のQRコードにて携帯サイトに簡単にアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



株式会社 **ブライダル**

Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモビル9F

大阪支社 〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング6F



お問い合わせ
(月曜定休)

0120-415-412

ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>
携帯サイト <http://www.bridal-vip.net/m/>

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。